

1/18
寺旗



戦争法について対話する参加者。市民17日、東京都新宿区

戦争法だけは許せない

総がかり実行委 200万署名訴え

「違憲の戦争法を私たち 2000万人署名への協力を廃止しましょう」。総がかり実行委を訴える宣伝行動を各地で

から行動実行委員会は17日、戦争法の廃止を求める

(新宿、池袋、四谷)で取り組みました。

新宿駅前の宣伝では、全労連の小田川義和議長がマイクを握り「戦争法を必ず廃止するため、野党共闘を、の声を大きくしていこう」と訴えました。日本医療労働組合連合会の三浦直子書記長は、「戦争する国で脅かされるのは、私たちのくらしや命や人権です。黙ってはいけません」と呼びかけました。日本共産党の清水忠宏衆院議員が訴えました。

「声を受け取った市民が署名に応じました。ずっと自民党を支持してきたと話す、東京都品川区の小針悦子さん(88)は「もう応援するのをやめました」。「戦争経験者として、この法律だけは許せない。絶対に反対です」と語りました。

同杉並区に住む奥貫篤子(88)は「安倍政権は、あまりにも国民の憲法を無視しています」。

「すべて国民は平等と謳っているが、そんなことはない。次の選挙で必ず審判を下したく」 ↓関連⑥面

若者もママも

名古屋・昭和区

「戦争するな」「憲法をわすな」。名古屋昭和区の沿道で15日、若者や子育てママの戦争法への怒りの声が響き渡りました。集会時は100人ほどでしたが、ドラムやかねを打ち鳴らしながらパレードしているのが次々

名古屋・昭和区に飛び入り参加し、150人に膨れあがりました。弁護士や平和団体の人たちがつくる集団的自衛権行使に反対する昭和区の会が主催。強行されてから初めての区民集会です。

集会では参加者がリレートーク。男子学生は「戦争法はおかしいと思う人は青年・学生だけでなく年齢を超えて一緒に運動しよう。沖縄へ新基地反対運動の支援に行った男性は「沖縄では非暴力で、国の妨害に屈せ

ず辛抱強く運動している。沖縄に学んで戦争法廃止へ署名や宣伝を広げよう。元教員の

男性は「応募が少ないう、危機感を持った自衛隊は高校生への勧誘、中学校へ募集説明会の案内配布をやっている。世論を広げ止めさせよう」と訴えました。日本共産党の柴田民雄市議が戦争法廃止

たのは4人だけ。署名を待っている人がいて勇気づけられた。小林あき代さん(74)は「戦争法の強行でショックを受けた知人が、多くの人が集まっている光景を見て、また一緒に頑張ると声をかけてくれた。安倍政権への怒りは隅々に広がっている。2000万人署名をやりきりたい」と述べました。マイナ

「署名名頭張る」

岐阜・中津川

「私たちがあきらめない。強行採決を忘れない」と14日、岐阜県中津川市で戦争法廃止を求める集会が行われ、80人余が参加しました。主催は、戦争はいやだ・中津川の会、

女性に怒っているレック・アクションの2団体。強行採決後、最初呼びかけ人の一人、岩田知子さん(65)は「5月10日から始めた戦争法案反対の運動は半年で21回。強行されたのはショックだが、

私たちは絶対あきらめない。運動を続けていく」とあいさつ。リレートークでは活動報告が次々に。小池のり子さん(74)は「4人で3時間かけて地域を60軒訪問し、戦争法廃止の署名が100人分集まった。ダメだっ

たのは4人だけ。署名を待っている人がいて勇気づけられた。小林あき代さん(74)は「戦争法の強行でショックを受けた知人が、多くの人が集まっている光景を見て、また一緒に頑張ると声をかけてくれた。安倍政権への怒りは隅々に広がっている。2000万人署名をやりきりたい」と述べました。マイナ

たのは4人だけ。署名を待っている人がいて勇気づけられた。小林あき代さん(74)は「戦争法の強行でショックを受けた知人が、多くの人が集まっている光景を見て、また一緒に頑張ると声をかけてくれた。安倍政権への怒りは隅々に広がっている。2000万人署名をやりきりたい」と述べました。マイナ

戦争法廃止 広がる運動



戦争法廃止を訴えパレードする人たち=15日、名古屋市昭和区

基地の街から

富山・砺波

富山県内で唯一、自衛隊基地のある砺波市。14日、「戦争法廃止

を求める市民パレード」が、民主団体などが中心となり行われました。自衛隊基地「戦争法をなくす会」となみ(仮称)を結成

す。冷たい雨が降るなか、参加者は、戦争法を無視することに怖さを覚える。改憲に与ら、中心商店街などを

行進。宣伝カーの声を聞いて店から出てきて手を振る人など、激励する人が何人もいました。

竹下道代さん(71)は、「安倍政権が憲法を無視することに怖さを覚える。改憲に与ら、中心商店街などを

4/18 五旗